

**ジーニー、京セラコミュニケーションシステムの  
「KANADE DSP」と接続を開始**  
**広告認知率が高いインフィード型広告に対応し、  
スマホ向けネイティブ広告の RTB 配信を可能に**

株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤智昭、以下「ジーニー」）は、ジーニーが提供するインターネットメディア向けの収益最大化プラットフォーム「Geniee SSP」において、京セラコミュニケーションシステム株式会社（本社：京都市伏見区 代表取締役社長：佐々木節夫、以下「KCCS」）が提供する広告配信サービス「KANADE DSP」とのネイティブ広告連携を開始し、スマートフォン向けネイティブ広告の配信を開始いたしました。

昨今、スマートフォン向け広告市場の拡大とアプリ向け広告の需要が高まる中、ジーニーは「Geniee SSP」を「KANADE DSP」とネイティブ広告で連携し、ジーニーが毎月数億インプレッションほど抱えるネイティブ広告を、IAB（Interactive Advertising Bureau※）が定めた規定にいち早く準ずる形で配信します。

これにより媒体社は、メディアのレイアウトやコンテンツに自然に溶け込むようなデザインに最適化され、かつインプレッションに対する広告認知率の高いインフィード型のネイティブ広告を RTB（Real-Time Bidding※）で配信することが可能になり、広告案件の増加および広告単価の向上を実現します。

また、KANADE DSP が提供するユーザーの性別や年齢などといったデモグラフィックやインタレストに合わせた広告配信、広告主様サイトへの再訪を促すリターゲティングなど、既存サービスメニューと組み合わせることで、広告主のブランド認知、効率的なサイトへの集客を支援します。

これまで市場では、他社同士の SSP・DSP 間におけるネイティブ広告の接続は稀であり、ジーニーはその点を積極的に実施することで媒体収益の更なる向上を狙います。ジーニーでは、海外事業者とのネイティブ連携も積極的に進め、国内外のネイティブ在庫のシェア拡大を目指すとともに、今後も幅広いお客様の収益最大化サポートを行ってまいります。

※IAB（Interactive Advertising Bureau）とは、オンライン広告における技術的標準規格の策定を始め、動向調査や法整備などを行う組織。

※RTB（Real-Time Bidding）とは、ウェブサイトにアクセスしたユーザーの1視聴毎に、インターネット広告の入札・表示がリアルタイムに行われる入札の仕組みを指します。DSP やアドエクスチェンジとの連携によって、広告主側でオーディエンス毎にリアルタイムで広告枠の入札を行う事が可能。効果の高いユーザーに限定して広告を配信できるため、広告主側は費用



対効果を向上させる事につながり、メディア側も配信単価を向上させる事が可能です。

### **「Geniee SSP」 とは**

ジーニーが開発した、インターネットメディア様向けの収益最大化プラットフォームです。純広告、Demand Side Platform や Ad Exchange からの Real Time Bidding での入札、複数のアドネットワークやアフィリエイト広告から最も収益の高くなるように広告を配信します。

### **「KANADE DSP」 とは**

「KANADE DSP」は、ユーザーごとの興味・関心に合わせて広告をパーソナライズする「パーソナライズリターゲティング」、潜在顧客を抽出し自社サイトへの訪問を促す「オーディエンス拡張」、狙ったセグメントへのブランド認知を促進する「プロファイルターゲティング」など、広告主様のキャンペーン戦略に応じた広告配信を可能とする広告配信サービスです。従来のリターゲティングではリーチできなかった広告主様サイトとの親和性が高い、興味・関心層（潜在顧客）に広告を配信し、優良顧客の獲得に貢献します。

▼広告配信プラットフォーム「KANADE DSP」の詳細はこちら

URL : <http://www.kccs.co.jp/kanade/dsp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

ジーニーPR事務局 担当：船越・神保

TEL: 03-5572-6071 FAX: 03-5572-6075 Mail: [geniee@vectorinc.co.jp](mailto:geniee@vectorinc.co.jp)